

2024年度 第1学期

面接授業

担当講師紹介



2023年度
『島根の火山フィールド・スクール』から



2023年度
『島根の火山フィールド・スクール』から




2023年度『斜面災害の発生と対策』から

2024年度 第1学期 面接授業 島根学習センター開設科目一覧


科目区分		ナバリング	(科目コード) 科目名	担当講師名	授業実施日	p.	
基盤科目	外国語	120 (中級)	(2644134) 日常のなかのフランス語	的場 寿光 (島根大学 ・特任講師)	6月29日(土) 6月30日(日)	1	
	生活と福祉	専門	320 (中級)	(2644169) インクルーシブ社会の障がい学	水内 豊和 (島根県立大学 ・准教授)	6月8日(土) 6月9日(日)	2
心理と教育		専門	320 (中級)	(2644150) 子どもの保健	前林 英貴 (島根県立大学 ・准教授)	6月1日(土) 6月2日(日)	3
	導入	導入	220 (中級)	(2644142) 今、日本で求められる英語教育	大谷みどり (島根大学 ・特任教授)	5月25日(土) 5月26日(日)	4
専門		320 (中級)	(2636387) 心理学実験 2	村瀬 俊樹 (放送大学島根学習 センター・客員教授)	5月18日(土) 5月19日(日)	5	
コース科目	社会と産業	専門	320 (中級)	(2644177) 経済の地方特性について	松原隆一郎 (放送大学・教授)	5月11日(土) 5月12日(日)	6
		専門	320 (中級)	(2644193) 基本的人権保障の現代的課題	黒澤修一郎 (島根大学・准教授)	6月22日(土) 6月23日(日)	7
		専門	320 (中級)	(2644185) 建築遺産の空間学	千代章一郎 (島根大学・教授)	5月25日(土) 5月26日(日)	8
人間と文化	専門	専門	320 (中級)	(2644215) アンデスの文化遺産と博物館	鶴見 英成 (放送大学・准教授)	7月6日(土) 7月7日(日)	9
		専門	320 (中級)	(2644223) ウクライナとポーランドの歴史	小山 哲 (京都大学大学院 ・教授)	6月15日(土) 6月16日(日)	10
		専門	320 (中級)	(2644207) オリンピックの文化史	浜田 幸絵 (島根大学・准教授)	4月20日(土) 4月21日(日)	11
自然と環境	専門	320 (中級)	(2644231) 山陰地域の内陸地震と活断層	向吉 秀樹 (島根大学・准教授)	5月18日(土) 5月19日(日)	12	

担当講師	まどば としみつ 的場 寿光
所属（職）	島根大学（特任講師）
学位・資格等	博士（文学）
専門分野	フランス文学
研究テーマ	20世紀フランス文学
所属する学会	日本フランス語フランス文学会
教育・研究内容	<p>現在は、島根大学外国語教育センターで、主に1年生向けのフランス語の授業を担当しています。またフランス文学やフランス文化についての講義を行い、フランスと山陰との関わりについても学生と共に調査したり、考察したりしています。</p> <p>研究テーマは、20世紀、とりわけ第二次大戦後のフランス文学についてです。この時代は戦争へと行き着いてしまったこれまでの価値観から脱却して、人間・社会・芸術について再考し、新たな価値の創造が求められた時代です。既存の文学の枠組みを超えて、他の芸術分野（映画・絵画・写真・演劇等）や哲学・思想との交わりの中で、ジャンルにとらわれない新たな創造の道を模索した作家たちの作品を中心に研究しています。</p> <p>また文学理論、現代思想についても関心があり、哲学書、現代哲学者による現代社会分析の翻訳なども行なっています。</p>
自己紹介	<p>出身は福岡県ですが、札幌、金沢、神戸、パリと各地を転々として、2018年から島根県に住み始めました。当初は環境の変化に戸惑いもありましたが、今では今まで住んだ都市の中でも一番住み心地が良いと思います。</p> <p>特に島根には豊富な食材があり、魚、肉、乳製品、野菜どれも質が高く、歴史ある日本酒やワイナリーもありますので、料理が趣味の私としては、とても恵まれた環境だと感じています。</p> <p>島根に関しては受講者の方の方がお詳しいと思いますので、ぜひ授業の合間に教えていただけたらと思います。</p>
授業の特色	<p>言語を学ぶのに必要なのは「対話」です。授業では間違いや誤りは気にせず、積極的に話してください。</p> <p>フランス語は馴染みがないように思えるかもしれませんが、いたる所でフランス語を目にし、また口にしていくはず。そうした身近なフランス語を学ぶことで、これまで何気なく見ていた景色が違った色合いで目に映るようになり、言葉について考えるきっかけになればと思います</p>

	担 当 講 師	みずうち とよかず 水内 豊和
	所 属 (職)	島根県立大学 (准教授)
	学 位 ・ 資 格 等	博士 (教育情報学) ・ 公認心理師
	専 門 分 野	特別支援教育 ・ 臨床発達心理学 ・ 教育工学
	研 究 テ ー マ	特別支援教育や発達支援への ICT の適用、 発達障害児とその家族の発達臨床
	所 属 す る 学 会	日本特殊教育学会、日本 LD 学会、 日本教育工学会 等
教育・研究内容	<p>知的障害・発達障害児・者とその家族を対象とした (1) 特別支援教育、(2) 臨床発達支援、(3) 特別支援教育や発達支援を支える ICT 活用などが専門です。</p> <p>これまで 3 歳児健診の心理相談員や保育所や大学での心理相談・発達相談などの場で、子どもの発達支援や保護者の心理サポートをしたり、特別支援学校・学級や保育所をコンサルテーションしたり、地域生活を営む成人の就労や余暇などのアクセシビリティを高める支援などの社会活動と、そこでのニーズの解決につながる研究をしてきました。</p> <p>現在は、島根県立大学で「知的障害児の心理」「特別支援教育アセスメント」「発達障害児教育総論」「障害児発達支援論」「障害児保育」「特別支援教育とインクルーシブ教育」などを講義しています。</p> <p>また、発達に気がかりのある子どもと家族の楽しい遊び活動「けんだい ふるーる」を島根県立大学の学生たちと開催しています。</p> <p>著書など詳しいプロフィールは、「水内豊和 note」で検索するか、以下のサイトをご覧ください。 https://note.com/tmlab2003/</p> <p>※教育・研究上は「障がい」ではなく現行の法律用語である「障害」という表記を用います。この言葉の扱いについても授業で論じます。</p>	
自己紹介	<p>私は岡山県岡山市、妻は島根県松江市の出身です。2003 年から 20 年間、富山県にある富山大学に勤めていましたが、いつかは岡山か島根に戻りたいと願っていたところ、2023 年度より島根にご縁をいただきました。</p> <p>趣味の子叉釣りをはじめ、アウトドア大好きな私には、海も山もある島根はとて住みよいところです。最近はカツライスに興味があります。</p>	
授業の特色	<p>障害 (障がい) はその人の中にあるのではなく、社会との相互作用で生まれるものであり、それによって生きやすくも生きづらくもなります。そのためにも社会全体の障害についての正しい理解は欠かせません。この授業では、障害を自分ごととして捉え、インクルーシブ社会づくりに自分がどのように寄与できるかを考え、実践できるようになることを目指します。</p>	

	担 当 講 師	まえばやし ひでたか 前林 英貴
	所 属 (職)	島根県立大学 (准教授)
	学 位 ・ 資 格 等	博士 (保健学) 保健師、看護師、公認心理師、 臨床発達心理士、養護教諭免許、 衛生管理者、潜水士
	専 門 分 野	小児保健、地域保健、
	研 究 テ ー マ	言語発達、学校保健、医療的ケア、 小児救命救急法
	所 属 す る 学 会	日本小児保健協会、日本小児神経学会、 日本臨床発達心理士会、 日本保育保健協議会、日本救急医学会 他
	教育・研究内容	<p>人は誰でも生まれた時から上手に話すことが出来ません。そのような子どもの言語獲得について、発達や障がいとの関連を踏まえて音声解析ソフトなどを用いた研究を行っています。</p> <p>私は以前、大学病院の小児科で看護師として働いていました。先天性疾患や慢性疾患を抱える子どもやその家族には、退院後も様々な課題に直面します。特に、医療的ケアの必要な子どもやその家族が地域で安心して生活するためには何が必要か、専門職としてどう関わることができるのかについて研究しています。</p> <p>所属大学である島根県立大学松江キャンパスでは、保育教育学科に所属し、保育士養成のための保健や保育に関する科目、また特別支援関係や小児向けの救命救急法に関する科目を担当しています。</p>
自己紹介	<p>若い頃は潜水士として世界の色々な海に潜ってきました。お気に入りのミクロネシアの透明度が高く潮流のあるポイントです。水中写真もしていました。いつかはこの山陰の海を潜って、自然の魅力溢れる写真を撮りたいと考えています。</p>	
授業の特色	<p>現在の小児保健の現状と子どもの心身の健康増進を図る保健活動について学びます。保育・教育の専門職として、子どもの健康と評価方法を理解し、様々な疾患や障がい、子どもの病気に特徴的な症状と保育・教育者としての対応について知識を深める。そのために、成人とは違う子ども特有の生理機能・運動機能を学習しながら、現代社会における子どもの健康に関する現状と課題を踏まえ、母子保健・地域保健活動を通して、保育・教育者の役割について考えていきます。</p>	

担当講師	おおたに 大谷 みどり
所属（職）	島根大学（特任教授）
学位・資格等	博士（文化人類学） 修士（スピーチ・コミュニケーション）
専門分野	異文化コミュニケーション、英語学習支援
研究テーマ	異文化コミュニケーション、英語学習支援
所属する学会	異文化間教育学会、英語ユニバーサルデザイン学会、小学校英語教育学会等
教育・研究内容	世界の様々な文化、異なった文化的背景を持つ人とのコミュニケーションの在り方について関心があり、仕事も研究も長年このテーマが軸になっています。アメリカ留学中も、異文化コミュニケーションを中心に研究を進めていましたが、島根大学教育学部にお声がけいただいたからは、学習者の背景としての、特性の違いによる学び方の相違についても、実践・研究を進めています。
自己紹介	歴史と自然豊かな島根に住んで 20 年ほどになります。大阪人の私が東京、アメリカ、松江と、複数の場所での生活や仕事経験を通して、もともと興味があった様々な文化について知ることの楽しみとともに、人と関わる大切さを一層強く感じようになりました。英語学習も、言葉だけでなく、その背景にある文化を知ることや、学習者の個々の特性に応じた学び方の工夫が大切だと感じています。個を大切にしながら、人とつながり、様々な背景をもつ人々が平和に暮らせる多文化共生社会が創られることを願っています。
授業の特色	近年日本では学校現場でも英語教育に力が注がれています。小学校 3 年生から外国語活動が週 1 時間必修となり、5・6 年生では教科化され週 2 時間、中学校 3 年間では、他教科よりも授業数は多くなっています。 本講義では、まず文部科学省の学習指導要領に基づき、国が求めている英語教育を押さえた後、日本語と英語の違い、第 2 外国語習得について概観した後、小中高等学校の現場で求められている英語教育について、教科書やデジタル教材等も実際に見ながら学ぶとともに、可能であれば、参加者の皆さんにも英語学習活動を考えていただこうと思っています。

	担当講師	むらせ としき 村瀬 俊樹
	所属（職）	放送大学島根学習センター（客員教授）
	学位・資格等	博士（文学）
	専門分野	発達心理学
	研究テーマ	言語獲得、文化と心
	所属する学会	日本心理学会・日本発達心理学会 等
教育・研究内容	<p>母語の獲得を中心的なテーマとして研究を行ってきました。ことばは他の様々な機能と関連しながら獲得されます。聞く力、他者と共有する力、遊び方といったことがことばの獲得をどのようにささえているのかを検討しています。また、養育者のことばかけや絵本など子どもを取り巻く環境にはどのような特徴があり、それがことばやものの見方の発達とどのように関連しているのかを研究しています。</p> <p>ことばの獲得に関する日米比較研究に参加する中で、文化の中で、「心」がどのように形成されるのかということにも関心を持つようになりました。日本で育った人の特徴として、他者の「心」を推測して自分の行動を調節する傾向が強いのではないかと思います。そのような「心」の仕組みはどのように成り立っているのかということも研究しています。</p> <p>心理学を学ぶことは、私たちが毎日経験する「心」を多様な視点から捉え、私たちが共通して持っている「心」の法則性と個人による違いを理解し、自分や他者が世界を見る見方・考え方のクセ（バイアスと呼ばれます）に気づき、より豊かな生活をすることに役立つと思います。</p>	
自己紹介	<p>出身は京都です。島根に来て35年以上になり、こちらでの生活の方が長くなりました。子どものころ、地図を見るのが好きで、今でもいろいろな街に出かけて、その作られ方を見るのが好きです。コロナ以降、あまり遠くへは出かけることができていませんが、近隣を歩いて思わぬ発見をすることを楽しみにしています。</p>	
授業の特色	<p>「心」を客観的に見えるものとして取り出し、どのような要因で「心」がどう変化するのかという法則性を調べる「実験」を行います。受講生自身に「実験」に参加してもらい、そのデータをまとめ、個人差はありつつも、どのような一般的な法則が見られるのかを読み取っていきます。</p>	

【専門：社会と産業】 科目名： 経済の地域特性について

担当講師	まつばら りゅういちろう 松原 隆一郎
所属（職）	放送大学（教授）
学位・資格等	
専門分野	経済思想
研究テーマ	社会経済学
所属する学会	
教育・研究内容	<p>一般に「経済学」は、経済と周辺との関係が問われません。社会経済学とは、市場と「人間関係資本」との関係に焦点を当て、「文化資本」「自然資本」「金融資本」とのかかわりを考察する経済学です。</p> <p>また歴史的な事実との関係も、都合の悪い部分については触れません。経済学は「物々交換」を前提として理論が構築されますが、そんな経済は歴史的に存在しなかったと考古学や民族学で指摘されています。それらを取り込むと経済学はどのようなものかを講じます。</p>
自己紹介	<p>神戸市出身。社会経済学を専攻しています。今年から経済学入門の授業（経済社会の基礎）を担当しています。</p>
授業の特色	講義とテスト

	担当講師	くろさわ しゅういちろう 黒澤 修一郎
	所属（職）	島根大学（准教授）
	学位・資格等	博士（法学）
	専門分野	憲法
	研究テーマ	違憲審査制、アメリカ憲法
	所属する学会	日本公法学会など
教育・研究内容	<p>憲法のなかでも主に違憲審査制について、日本と米国の比較の観点から研究しています。近年は、米国政治のイデオロギー的分極化が違憲審査制の運用に与える影響や、米国の人工妊娠中絶をめぐる判例の展開などについて、論文を発表しています。</p> <p>教育面では、所属大学の授業として、憲法分野の講義や演習を担当しています。講義では、基礎的な内容をバランスよく理解してもらえよう、要点を簡潔に整理し平易に解説することに重点を置いています。演習では、憲法の判例および学説を扱ったゼミを、例年実施しています。</p>	
自己紹介	<p>出身は山形県で、学生時代は札幌で過ごしました。縁あって島根に来て12年が経とうとしています。山陰の落ち着いた環境は自分に合っており、仕事も生活も楽しんでいます。休日は、最近はサイクリングや釣りなどを行っています。</p>	
授業の特色	<p>放送大学面接授業科目である「基本的人権保障の現代的課題」では、近年の判例や事件、ニューストピックなどを豊富に取り上げ、憲法に関する具体的な理解を獲得することを目指します。地域社会で生じている憲法問題についても重点的に紹介したいと考えています。</p>	

	担当講師	せんだい しょういちろう 千代 章一郎
	所属（職）	島根大学（教授）
	学位・資格等	博士（工学）
	専門分野	建築史・建築デザイン理論
	研究テーマ	近代建築史、現代建築史
	所属する学会	日本建築学会 他
教育・研究内容	<p>現在勤めている島根大学では、西洋建築史、日本建築史、現代建築論、都市計画論、建築都市空間論など建築デザインを洋の東西を問わず、また時代のいかんを問わず、幅広く授業をしています。研究室としては、近代建築のデザイン手法の研究に加えて、松江を対象とした研究も手掛けています。最近では、松江の茶室・庭園などの実測、松江に多くの建築作品を建設した菊竹清訓の共同研究もしています。また一方で、こどもの建築教育などにも携わっています。どの研究もそうですが、私たちの生活環境をどのように構成するのか、そのつくり方を主題としています。</p>	
自己紹介	<p>生まれも育ちも京都です。松江は5年目ですが、父方の祖母が松江市生まれの松江市育ち。血は争えないのでしょうか、前から知っていたような町です。京都とは歴史的都市という点でも共通点があります。今なお多くの建築が残る松江は、研究の宝庫です。</p>	
授業の特色	<p>この授業では、「建築」という生きるために不可欠なもの、しかし普段あまり意識することのないものを「遺産」という視点から眺めてみたいと思います。「遺産」というと「お宝」のようなイメージがありますが、目に見える遺産から目に見えない遺産まで、建築や都市を巡っていろいろな「遺産」があちこちに散らばっています。それは私たち自身の生活や心の豊かさや誇りにも結びついていることを、松江という場所をベースに一生涯に考えていきたいと思っています。</p>	

【専門：人間と文化】 科目名：アンデスの文化遺産と博物館

	担 当 講 師	つるみ えいせい 鶴見 英成
	所 属 (職)	放送大学 (准教授)
	学 位 ・ 資 格 等	博士 (学術)
	専 門 分 野	アンデス考古学・博物館学
	研 究 テ ー マ	物質文化と社会の動的関係
	所 属 す る 学 会	古代アメリカ学会ほか日米の5学会

教育・研究内容

南米のペルー共和国を活動の中心として、古代文明について研究しています。また現地や日本の博物館において、コレクションの研究や情報発信を実践してきた経験を踏まえ、放送大学では博物館学関連の授業を担当しています。

南米大陸の太平洋岸に発祥したアンデス文明は、世界の他の古代文明と交流がなく、アフリカやユーラシアのように大河の流域を舞台とすることもなく、また文字という、法律や宗教思想の普及を支えるメディアを持ちませんでした。それにもかかわらず、16世紀にはインカ帝国の名で知られる強大な政体が、スペインからの征服者たちを驚嘆させました。アンデス文明のユニークさを研究することの意義は、人間とは、文明とは何なのかという大きな課題に対し、より広い視野をもって臨めるようになる点です。

自己紹介

古墳のそばで育ったせいか、土や石を積んだ古代のモニュメント建築に惹かれます。多大な労働力を投下するにあたり、古代人たちはなぜその地点を選んだのか、背景を思い巡らすのが楽しいからです。大学で研究対象としてアンデスを選んだのは、博物館でその造形物の面白さに惹かれたためです。いらい四半世紀にわたって、ペルーで紀元前の神殿遺跡を発掘し、またその立地条件について仮説を立てて山中に分け入り、神殿を発見してきました。前職では大学博物館を研究拠点として、そのような成果を学界だけでなく現地の人々にどう伝えるのか、どう受け止められるのかを考えてきました。

授業の特色

アンデスの環境や古代文明の全容について概説し、どのように研究が進められて来たのか、現代社会において古代の遺産がどのように受け止められているのかを説明します。教室に古代アンデスの土器のレプリカを用意しますので、私自身の研究の動機にもなった造形的な面白さと、作り方・使い方に関する考古学的な読み解きを、現物に触れて体感してください。

	担 当 講 師	こやま さとし 小山 哲
	所 属 (職)	京都大学大学院・文学研究科 (教授)
	学 位 ・ 資 格 等	文学修士
	専 門 分 野	西洋史学、ポーランド史
	研 究 テ ー マ	近世ポーランドの社会・文化
	所 属 す る 学 会	史学研究会、東欧史研究会
教育・研究内容	<p>主として近世（16～18世紀）のポーランド史を研究しています。この時代のポーランド（正確に言うと、ポーランド・リトアニア共和国）の版図はバルト海と黒海のあいだに広がっており、現在のバルト3国、ベラルーシ、ウクライナの一部が含まれます。貴族が選挙で国王を選び、議会を中心に政治を運営していたために、「貴族の共和国」とも呼ばれます。議会制民主主義の歴史というと西欧諸国やアメリカの事例が思い浮かびますが、東欧にも近世にさかのぼる歴史的な経験がありました。</p> <p>京都大学では、近世ヨーロッパ史を中心に、西洋史学の教育を担当しています。歴史学にかかわる各種の演習・講義のほか、ポーランド語のテキストを読む授業も行なっています。</p>	
自己紹介	<p>大阪生まれ、東京育ち、京都とワルシャワで歴史学を学びました。島根大学で勤務していたことがあり、現在も家族が松江にいるので、京都と松江を行ったり来たりしています。</p>	
授業の特色	<p>日本では馴染みのない地名・人名もたくさん出てきますが、地図や図像も使いながら、理解しやすい授業となるように心がけています。今回の授業をとおして、現在ウクライナで起こっている戦争の歴史的背景について考える手がかりを提供できれば、と思います。</p>	

【専門：人間と文化】 科目名： **オリンピックの文化史**

担 当 講 師	はまだ さちえ 浜田 幸絵
所 属 (職)	島根大学 (准教授)
学 位 ・ 資 格 等	博士 (コミュニケーション学)
専 門 分 野	メディア史、コミュニケーション学、文化研究
研 究 テ ー マ	メディア・イベントとしてのオリンピック
所 属 す る 学 会	日本メディア学会、日本スポーツ社会学会
教 育 ・ 研 究 内 容	<p>今回の授業では、私がこれまで取り組んできた研究の一端を紹介したいと思います。私はもともと戦前期日本のオリンピックを、メディアのイベントという観点から研究してきました (『日本におけるメディア・オリンピックの誕生』ミネルヴァ書房、2016)。遠い土地で起こるオリンピックのような出来事は、メディア (書籍・雑誌・新聞・ラジオ・映画・テレビ) がそれを伝えることがなければ我々は認識することができません。オリンピックが国際イベントとして定着し、ナショナリズムを喚起するようなものになっていく過程に、メディアは深くかかわっていたといえます。戦前期の研究をした後は、それが戦後日本へとどのように継承されていくかについても研究しました (『〈東京オリンピック〉の誕生』吉川弘文館、2018)。</p> <p>一方で、日々の生活や教育活動の中では、近年のメディア環境の急激な変化を感じます。こうした新しい状況に対応する形で、オンライン上で構成されるスポーツや趣味に関する研究も進めています。いわゆるマス・メディアが衰退するなかで、メガ・スポーツ・イベントの在り方も揺らいでています。授業では、オリンピックの〈これから〉についても扱うことができると考えております。</p>
自 己 紹 介	<p>松江には十数年前に島根大学に着任したことをきっかけに、初めてやってきました。縁もゆかりもない土地でしたが、落ち着いた町の雰囲気気に入っています。地方と都市を往還するような視点をいつの間にか身に着け、地域で起こっていることからも様々に興味を持っています。</p>
授 業 の 特 色	<p>シラバスにもありますように、一つのイベント=文化事象を様々な角度からみていきます。このことの面白さを体験していただければと思います。</p>

【専門：自然と環境】 科目名： 山陰地域の内陸地震と活断層

担当講師	こうよし ひでき 向吉 秀樹
所属（職）	島根大学（准教授）
学位・資格等	博士（理学）
専門分野	構造地質学
研究テーマ	断層地形が不明瞭な活断層の特定に関する研究， 断層発達過程に関する研究
所属する学会	日本地質学会，日本活断層学会， 日本応用地質学会，日本地球惑星科学連合
教育・研究内容	<p>現在日本列島の陸上で確認されている活断層は約 2000 あると言われていますが、実際にはより多くの活断層が存在すると考えられています。活断層の存在は地形判読によって確認されますが、中には断層地形が不明瞭な活断層も存在します。特に山陰地方は断層地形を確認しづらい地域とされており、2000 年鳥取県西部地震(M7.3)や 2016 年鳥取県中部地震(M6.6)、2018 年島根県西部地震(M6.1) など、活断層が確認されていない場所で中一大規模の地震が度々発生しています。</p> <p>私の研究室では、地形的に確認できていない活断層を特定し、地震防災につなげるための研究を行っています。研究は野外調査 9 割、机上における数値計算 1 割程度と、野外における調査が大部分を占めます。野外における地道な調査により、隠れた地震ハザードを 1 つでも多く確認することに努めています。</p>
自己紹介	<p>中学生の頃、地元（鹿児島県）のローカル番組で「鹿児島湾が数万年前の火山の大爆発によって形成された」という内容の放送があり、その放送を見て、地球科学の空間的、時間的スケールの大きさに驚嘆しました。その放送がきっかけで地球科学に興味を持つようになりました。大学の進路選択も地球科学一択でした。大学で地球科学について深く学ぶうちに地震防災に貢献したいと考えるようになり、現在に至っています。</p>
授業の特色	<p>活断層という用語はご存じかと思いますが、活断層がどのようにして発見されているかについては存じていない方が多いかと思います。この授業では、講義の前半で地震と断層の関係や活断層の定義、活断層の確認方法等について説明します。後半は野外に出て、断層の活動によって形成された地形を観察し、大地の変動を視覚的に感じられる授業にしたいと考えています。</p>

2024年度 第1学期 面接授業 日程表

授業実施日	科目区分 ・ナンバリング	定員	(科目コード) 科 目 名	担当講師名
4月20日(土) 4月21日(日)	専門：人間と文化 320(中級)	40	(2644207) オリンピックの文化史	浜田 幸絵
5月11日(土) 5月12日(日)	専門：社会と産業 320(中級)	40	(2644177) 経済の地方特性について	松原隆一郎
5月18日(土) 5月19日(日)	専門：心理と教育 320(中級)	20	(2636387) 心理学実験 2	村瀬 俊樹
5月18日(土) 5月19日(日)	専門：自然と環境 320(中級)	20	(2644231) 山陰地域の内陸地震と活断層	向吉 秀樹
5月25日(土) 5月26日(日)	導入：心理と教育 220(中級)	40	(2644142) 今、日本で求められる英語教育	大谷みどり
5月25日(土) 5月26日(日)	専門：社会と産業 320(中級)	40	(2644185) 建築遺産の空間学	千代章一郎
6月1日(土) 6月2日(日)	専門：生活と福祉 320(中級)	40	(2644150) 子どもの保健	前林 英貴
6月8日(土) 6月9日(日)	専門：生活と福祉 320(中級)	40	(2644169) インクルーシブ社会の障がい学	水内 豊和
6月15日(土) 6月16日(日)	専門：人間と文化 320(中級)	35	(2644223) ウクライナとポーランドの歴史	小山 哲
6月22日(土) 6月23日(日)	専門：社会と産業 320(中級)	40	(2644193) 基本的人権保障の現代的課題	黒澤修一郎
6月29日(土) 6月30日(日)	基盤：外国語 120(中級)	40	(2644134) 日常のなかのフランス語	的場 寿光
7月6日(土) 7月7日(日)	専門：人間と文化 320(中級)	40	(2644215) アンデスの文化遺産と博物館	鶴見 英成

★ 島根学習センター所属の学生の皆さまへ ★

学習を進めていると疑問や質問、悩みや問題がでてきます。
そんなとき、皆さまのお悩み解決のお手伝いをいたします。

学習相談

学習内容についてはもちろん、様々な学習上の
疑問・悩み・問題について、所長と客員教員が
直接ご相談に応じます。分からないことがで
てきたら、一人で悩まないで、「客員教員室」の扉
をたたき、先生とお話ししてみませんか。

履修相談

放送大学のこと、面接授業のこと、通信指導のこ
と、単位認定試験のこと、卒業までの履修計画な
どなど、履修に関する相談は、島根学習センター
事務職員がお答えします。

わからないことや悩みがあったら・・・

★ お問い合わせ先 ★

☎ (0852) 28-5500

(時間 9:30~17:30 月曜・祝日は閉所日)

放送大学島根学習センター

〒690-0061 松江市白湊本町 43

電話 (0852) 28-5500

FAX (0852) 28-1800